

午前11時57分休憩

---

午後1時00分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 皆様、大変お疲れさまです。対政会、13番議員の波田政和でございます。市長をはじめ執行部の皆さんにおかれましては、毎日の行政運営、大変お疲れさまでございます。

初めに、この場をお借りしまして、新中島教育長さんの今後の御活躍に期待し、教育行政が確固たるものとなることを信じてやみません。よろしく願いしておきます。

また、世界的に猛威を振るい、世界を日本を苦しめたコロナ感染も落ち着きを見せつつ減少傾向にあり、対馬市においても、お一人お一人の予防と感染対策の徹底と認識で感染者も少なく、今後におかれましても十分な感染対策で過ごされることを望んでおります。そんな中、落ち込んでしまっている地域経済の回復が重要となってきておりますが、経済の回復には人の流れと交流が比例していると思うことから、今回は地域が活性化するにはどうあるべきなのか、またどうすべきかについてお尋ねしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

まず、初めに新対馬博物館、誠に開館おめでとうございます。振り返れば、前市長の肝煎り事業であり、比田勝市長の下、このたび晴れて開館、オープン運びとなったのですが、引き続きの事業ゆえ紆余曲折がたくさんありながらもめでたくオープンの運びとなり、対馬市民の一人として大変喜びを感じております。文化と歴史が後世に正しく引き継がれ、対馬市の観光の目玉となるよう期待しております。前市長から受け継いだ事業とはいえ、比田勝市長の功績であるという事は言うまでもありません。私は今回、広く世間に伝えるべき観光スポットの在り方として市長にお伺いをいたします。

この地域には、対馬市役所本庁舎をはじめ、対馬博物館、朝鮮通信使歴史館、櫓門、金石城庭園の心字池、万松院と集中しており、島内の中でも特に魅力のある観光スポットであると認識しております。私が、本市を訪れられる観光客の方々に名所巡りについて感想を尋ねるときのお話を紹介させていただきます。

まず、博物館についてですが、博物館玄関入り口が裏通りにあり、市役所庁舎側にある坂道通路は使用できないのか。博物館を出て櫓門前に入る通路の新設はできないかなど、観光は人の流れが大事ではないかと指摘があっておりましたので、申し添えておきます。

また、元ビジターセンター入り口の坂道通路は進入禁止の柵が設置されておりますが、あの坂道通路も文化庁の管轄ですか。再度確認しておきます。

私は、観光とは、歩き散策し、ゆっくり研鑽することが大事であると考えておりますが、人の動線を再度検証してみることができないものかと感じております。例えば各施設内にはその施設内を見学しやすくするために順路の案内が設置されており、回りやすく、また理解しやすい、だとするならば、野外でも名所が集中しているこの地域でも人の動線を考え、順路案内など設置で巡らせてやることも我々の仕事であると思っております。集中している観光名所に関し、大きな看板を設置し、縮尺図でも設置して名所巡り案内経路など研究ができないものなのか。また、提案に対し賛否両論はあると思いますが、清水が丘グラウンドを利用し、縮尺対馬島を建造し、全島の観光名所など案内することも一つの魅力ではないでしょうか。このことについて市長の考えがあればまた後ほどよろしく願いしておきます。

それと各施設の入館料についてでございますが、広く世間に周知させる、また宣伝効果を高めるため、期間を定め一定期間、全て入館料を無料とし、観光の魅力の一つとする考えはないか。博物館のオープンに伴いたくさんの入館者が利用されてあるとは思いますが、入場者の増減で固定経費にはあまり影響がないと考えることから、まず誰一人取り残さない精神で進む対馬市であるがゆえに、島民全ての方々に来館していただけるよう配慮はいただけないのですか。島民の方々に大事にいただける施設であることが私は大事だと思っております。

それと、先ほど申しますように、入館料の一定期間無料化する提案も御理解していただき、ぜひ全ての方々が回りやすく理解していただくことが名所のアピールにつながると思っておりますが、市長、いかがでしょうか。ここは思い切って入場者の出入りが多い少ないは考えず、ぜひ地元の人をはじめ観光客の方々が入りやすく回りやすい名所巡りを考えていけないか、併せてお尋ねしておきます。

次に、厳原南地区アクションプランについてお尋ねします。

まず初めに、今回このアクションプランの作成に携わっていただきました各委員の皆様にご心より感謝申し上げます。それと同時にこのアクションプランの発表があったとき、事を起こすための計画が活字化され、本当の意味で動き出したと実感を受けております。皆様も御承知のとおり、この厳原南地区は、軍用道路を軸とし整備が遅れ、アップダウンが激しく、各集落が点在する地域であります。過去において実現不可能な道路整備計画の発表もなされていましたが、政治家の言葉ではなく、実現可能な方向に修正・見直しをお願いしておきます。

生活道路のインフラ整備は少しずつ進んでいると認識しておりますが、また道路整備に関しましては、中期・長期での取組であることも理解しております。地域に住む住民の今を考え、早期に取り組んでいただくことも併せて強くお願いしておきます。地域を守り地域で生活するのも地域住民です。自然減は別として、地域に魅力をつくり出すことが今やるべきことで定住につながり、比田勝市長に託されたことと思っております。

そこで、このプランの中で短期の取組を早期に今、進めることが大事であると感じております。先祖が残し、後世に伝える財産の維持もままならない現実を見たとき、生活基盤を中心に地域にあったスタイルの構築が急務であり、住民の皆様の共通の認識ではないでしょうか。現実的には少子高齢化、また過疎化が著しく進む中、各種商店も減少し、生活難民も増えつつある現況です。現実を真剣に受け止め、今やるべきことは何か。アクションプランで将来構想には期待を持っていますが、今回は短期での取組について、住民の声を中心に取り上げさせていただきます。

このプランを拝見しますと、地域性を生かし、農林水産業を軸に設計と集客で活性化をさせる地域再生の在り方が示されていますが、文化や歴史は集中管理で守れますが、生活の基盤は今、住んでいる住民の方々が守り継続するしかないのであります。そのようなことから、今回は短期計画の中にもありますトイレ、休憩所等の整備事業についてお伺いしますが、集客や観光巡りにはトイレ設置整備は欠かせません。先日、バードウォッチングの方々からの強い要望で公衆トイレ設置が急務であるのではとの指摘がありました。そこで短期で行うトイレの整備案として、現在、各地域に存在する消防分団庫のトイレを活用することはできないのか。また、構造は別として利用できるのか、できないのか、後ほどお答えいただきたいと思います。

また、維持管理についても地域の方々と協議を行い、各地区での管理ができないかも併せてお尋ねします。

以上、大きく2点尋ねておりますが、個々の話は自席からまた質疑したいと思っておりますので、市長、よろしく願いしておきます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 波田議員の質問にお答えいたします。

初めに博物館関係でございますけども、4月30日に開館した対馬博物館は対馬の歴史、芸術、民族、自然に関する文化的資源を収集保管し、調査研究の成果を集積及び展示して活用を図り、魅力を発揮し、学習や交流、観光の拠点となることを目指しながら、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的としているところでございます。

また、平成27年に策定しました整備基本計画においても、基本理念として5点を掲げ、1点目といたしまして、対馬の豊かな自然・歴史・文化の発信、2点目が市民県民が共に学ぶ学習拠点、3点目が宗家関係資料などの貴重資料の保存研究、4点目が日韓交流の拠点、5点目が対馬の魅力を生かした観光拠点を挙げております。

対馬市総合戦略における目標入館者数は、年間10万人、月8,300人としておりますが、開館後1か月間、4月の30日から5月末になっておりますけども、この入館者数は6,536人でございます。目標入館者数には若干届かない状況でございますが、要因といたしまして外国人観光客を見据えた設定に数値がなっているのに対し、国際航路の休止やコロナの影響による入国

制限、そして日本人観光客についても同様にコロナの影響が考えられるところでございます。今後は、博物館の利用機会を増やすために郷土愛醸成事業として市内の小中学校が博物館を見学する場合のバス代を補助しているほか、年2回程度の特別展示、多彩なテーマでの企画展示、島外からの団体の視察や研修会の受入れ、雑誌や機関誌への記事の投稿、旅行会社へのPR等を行い、目標を上回る来館者を目指しているところでございます。

観光の動線に関しましては、文化交流課が島外からの観光客をターゲットとした有料施設、博物館、旧金石城庭園、万松院、朝鮮通信使歴史館等でございますけれども、この施設の周遊観覧券を作成するよう関係者の調整を進めているところでございます。

また、周遊観覧券はパンフレット型として、ふれあい処つしまを出発し、櫓門をめぐり博物館へ、博物館を観覧後、旧金石城庭園、万松院と巡り、最後に朝鮮通信使歴史館へを基本コースとし、これ以外に博物館駐車場、今後、整備する予定の朝鮮通信使歴史館駐車場を出発するコースの設定を行い、施設の紹介なども合わせて実施してまいります。

博物館下のスロープの部分に関しましては、教育委員会文化財課が令和2年度に策定した史跡金石城跡及び名勝旧金石城庭園保存活用計画の中で今後の保存管理の方法として、歴史的景観の修正のためにスロープは解体、石垣への積み直しを検討するとうたっております。これは史跡金石城跡の隣接地に対馬博物館を整備するに当たり、その周辺景観の造成と史跡整備を両立できないかとの考えに端を発しております。現在、対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会において、令和3年度から令和12年度までの10年計画で金石城跡、旧金石城庭園の第2期整備計画を検討中です。文化庁や委員会からもスロープの解体、積み直しの必要性は認められるが、当時のままの石垣遺構が多く残る御台所門、櫓門前の石垣の整備を優先すべきであるとの御指導をいただいております。

また、スロープ部分につきましては、事前の調査の必要性、石材や石工の確保等に課題を示されており、事業費、事業期間ともに長期化が見込まれます。

また、来館者を増やす取組として、市民の観覧料金を無料にする期間の設定も今後、実施してまいりたいというふうに考えております。

次に、巖原南部地域アクションプランについてでございますが、本プランは巖原南部地域の内山、瀬、豆敷、浅藻、内院の5つの地区を3つのエリアに分け、地域の持つ優れた自然環境や社会環境を地域独自の貴重な資源として有効活用し、巖原南部地域の活性化を図っていくための行動計画としております。3つのエリアごとに整備方針を設定しておりますが、この整備計画を具現化していくためには、地域住民の果たすべく役割が重要となり、地域住民が主体性を持ち、行動計画に沿った取組が必要となります。本アクションプランの推進につきましては、地域住民が主体となり、地域事業者や団体と行政が協力して取組を進めていくこととしておりますので、そ

それぞれの果たすべき役割や実施していく事業などについては、引き続き協議・検討を行い、優先順位をつけながら取組を進めていくこととしております。

また、行政におきましては、複数の部署に関わることから関係部署にも策定の経緯、計画、取組について説明を行い、横断的に取り組むこととしております。

具体的な取組につきましては、これまでの地区との協議の中で特に豆殿地区住民センターの利活用及び整備事業に係る意見が多数あり、当該施設は老朽化が進み、雨漏りもしている状況でありますので、地域の意向を聞き取り、施設の規模や仕様を取りまとめ、建て替えを基本に取組を進めていくこととしております。

このほか、トイレ、休憩所等の整備事業、観光案内板等の設置事業、有害鳥獣対策事業につきましても、多くの意見がありましたので、設置箇所等住民の意見を取りまとめ、優先順位の高いものから順次、取り組むこととしております。

議員のほうから消防団施設等のトイレの使用は可能かというような質問がございましたけども、このことにつきましては後ほど、また消防長のほうから回答をさせたいと思います。今後もこの計画を推進することで、好循環を生み出し、巖原南部地域全体の活性化を図ってまいりたいと考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 消防長、主藤庄司君。

○消防長（主藤 庄司君） 消防団分団庫のトイレの設置の可否についての御質問にお答えさせていただきます。

消防団分団庫のトイレにつきましては、現在でも公衆トイレとして使用している施設もございます。ただ、その施設は屋外から直接トイレのみに入ることができる造りとなっております。そのようなことから防犯面等も考慮いたしまして、トイレが車庫などを經由せずに屋外から直接トイレのみに入れる造りとなれば、清掃等を含めた維持管理体制などについて、分団庫を管理する消防団分団と調整が整えば利用は可能ではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。

まず、今、消防長のお答えで使っているところもあるし、設備的に可能なら使用もできるという話ではありますが、実は全てにおいて1階にあると思うんですね。トイレはね。全てとは言いませんけど。ということは、先ほどから申しますように、この人間、生理的現象はどうしようもできんじゃないですか。だから短期で取り組むべきものは何かというお尋ねをしているわけですが、だから防犯上とかいろいろな支障がある面はクリアすることは簡単ですよね。ドアをつけ直

せばいいだけのことですから。そういうことを図ってやって地域に人を呼び込むためにはどうするのかというところを研究していただきたいというのがこの分団庫使用という話をしたわけですが、この奥底にはトイレを造ってくれ言うたってできやせんわけですよ。何年かかってもね。そういうことから今あるものを上手に使いながら、地区とお話をしながら管理面まで話ができるんじゃないかと。そういった施設の無いところの方々とお話ししますと、地域で話し合いをしながらでも、そういう当番制でやるとかそういう話も出ておりましたので、やっぱり受け入れる側が一番大事じゃなかろうかと思っておりますので、そこも含めて消防長が判断するのもいかなものかと思いますが、市長もそこを踏まえまして早急な受入れ体制だけではできるように何とか努力していただきたいというのがこのトイレに関してのお話でございますので、受入れとかいろいろ言う人がたくさんのもろもろの計画はある中で早急に願うするのはこのことじゃなかろうかなと思っておりますので、一日も早く着手できるように、先ほどもいろいろな地区の話もちらほら出ておりますけれども、やっぱり一番大事なところは大事なほうを優先順位を決めていただきたいという思いでありますので、よろしく願いしておきます。

それでは、博物館周辺整備について話をさせていただきますが、今、市長も私も方向性は同じかなと、表現の仕方はちょっと違っているかもしれませんが、私が言いたいのは、コロナも落ち着きつつあります。観光客も入れながら経済回復をしなくちゃいけないということは共通の認識の下、一個一個の施設は立派なものですよ。ただ、そこの中でみんなが上手に順路を追ってやっていける案内といえますか、易しく行ける体制を取るためには何か方法はないのかと。先ほど冒頭に話しましたように、一目で分かるぐらいの大きな看板を立てながら、集中しているわけですから、何とか告知したらいかがかなと思っておりますが、市長、そこはどうですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 冒頭の答弁の中でも申しましたように、周遊券等も今後きちんと出してこうというようなことで、その順路等もパンフレット等で示していければと思っておりますが、議員おっしゃられるようにどこかよく目立つところにその順路等が、また観光案内板等で設置できれば、そのことについても進めていきたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。市長も現況よりももう一步深く皆さんが利用しやすく、学習しやすく、回れる体制を取りたいという気持ちは共通だと思いました。そういう中で先ほども若干、清水が丘を利用して対馬島の再建、再築なるかという話もしてみましたが、やっぱり南北に長いから半日や一日じゃとてもじゃないじゃないですか。そういうことも将来にわたって考えるのも一つかなと私なりに思うところでございます。そういう中でもいろんなものを周知徹底といえますか、皆さんに分かりやすくするためにはいろんな方法があると思う

んですよ。先ほどから言いますように、周辺整備はまた順路が分かりやすく看板でも立ててくださいというお話をしておりますが、やっぱり今言うように、どこを起点に動くかということも大事になってくると思うんですよ。私は経済も含めて話しましたが、バスのロータリーのところからバス停まで店一軒もないんですよ。そういう中で、歩かせんとですね、観光というのは。駐車場の話が出らなかったからあんまりとやかく言いませんけども、市長は御存じかどうか知りませんが、大型バスがあの桜通りといいますか、市役所の横にあそこに止まっている、迷惑しちよるんですよ、一般人は、非常に。それを黙認することはいかんじゃないですか。そういったことを考えて目に触れなければ黙っておこうじゃなくて、人間が動くということはそれで何かで来ているわけですからね。やっぱりそういったことを考えたときにみんなで動きやすく、またそれが経済に跳ね返るためにはどうする。市役所があそこに店出せとは言いませんよ。言いませんけども、やっぱりそういったちょっとしたことが集客につながっていくんじゃないかな。今までずっと見ますと民間が力を入れながらやることは見ていますけども、行政がこういったことをやってみたらどうでしょうかということはいくらも聞いたこともないし、観光客の先ほどの話も若干しましたけども、皆さんそういった小さいことから大きいことまでいろいろ話されています。だからせつかくこの周辺整備が今回、取り上げさせてもらったのは、満足してもらいたいじゃないですか、皆さんに。そういった意味もありますので、よろしく願いしておきますが、この、先ほど市長が博物館の無料化を計画していますという話でありましたので、いつ頃それを実現するかだけちょっと教えてください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今これは博物館の関係のちょっと職員から話を聞いたところでございますけども、恐らく期間を設定をして、いつまでもだらだらではちょっと今度、入館料、運営の関係にもございますので、期間を決めた上で特に高齢者等を対象に設定をしたいということで、まだ具体的には決まっていないというふうに聞いております。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。市長、具体的に決まっていないんじゃないかと、先ほどから話がありますように、市長が決めればいいことやないですか。命令してくださいよ。年寄りも若くならんから。そういったことを考えて一日も早く対処していただきたいと、ここはこのように思っております。

先ほどから私がこの観光地の動線について、私なりの話を一貫していないんじゃないかという話もしましたが、見方によるとしていると言われるかも知れません。先ほどバスの交通の話も若干触れましたけども、私は基本的には観光とは歩くものだと思っていますから、その辺でやっぱり徹底させたほうがいいんじゃないかなという思いであります。

それと博物館の坂道の話も聞きました。元の坂道ですね。それはそれなりの計画があるんでしょう。しかしながらそこで私が疑問に思うのは、元幼稚園の跡地といいますか、あそこはたくさん大きな広場が空いていますが、今までの市長の話では文化庁の管轄でいろいろ規制があつてできないんだという話が、もう私も理解しております。しかしながら、駐車場でできなかったら停車場になるんじゃないかとか、いろんな作戦を立ててみたらどうかと思うんですよ。というのが、工事期間中は貸しているわけですから。やっぱりそれは角度の問題でしょう。例えばたくさん来るようになったとしても、時間制を敷くとか、何か方法が、市長、考えてみてくださいよ。やっぱりそういうふうになればあの辺もまたにぎわいも出てくるんじゃないかかと思っておりますし、皆さんが気持ちよく対馬に来て気持ちよく帰れるような体制を、個々の建物を相互にすることじゃなくて、全体で満足いくというのが私は観光巡りであると思っておりますので、ひとつそこをよろしく願いしておきます。

それと先ほど前段で話をさせていただきましたが、南部地区のアクションプランについても一度だけ確認しておきますが、特に久田から浅藻までの東周りの軍用道路について、再度お尋ねしますが、以前、対馬市の単独で、なるかならんか分からん計画の話があつたじゃないですか。そういうことで市民の方も期待もしておる人もおつたし、市長、市の単独での南部地区の道路つてできないじゃないですか。できるか、できないか、まず教えてくださいませんか。今までの話の中で。どうですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 安神浅藻線の関係だというふうに思いますけども、市では今、安神浅藻線では、現在は安神までの計画を立ててトンネル等を中心に事業を進めているところでございます。それでこれまでも安神から先については、県道のバイパス的な線形になっております久和までは何とか市で単独でも計画をしたいということで、これまでも計画としては残ってはおります。ただ、今度は久和から浅藻まで、こちらについてはもう県道の計画とほぼ平行になりますので、これについては県とまた協議を進めさせていただきますというような、これまで説明してきたというふうに思っております。それで前回も対馬市のこの議会のほうより安神までは分かるけども、それから先の計画はどうなのか、考えたほうがいいのかというようなそういった指導もいただいたというふうに理解をしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 市長、私が聞いているのは、そこなんです。できるかできないかを聞いているんです。久和までは市の単独財源でやるという捉え方でいいんですか。そうじゃなくて、地域に住む人たちは政治家がそこそこ話をしたことを信じているんです。それは来世にできても話にならんじゃないですか。だからやっぱり建設的にやるためにはどうするのか。今



言わはるように県道も走つとることですから、その辺とタイアップしながら、本当の話をしていただきたいんですよ。なぜなら地域に住む人たちは、自分がその地域を守っていかないけんということは分かっておるから住んでおるわけですよ。そのことを考えて、なる話をしたいし、私はとてもじゃないですけど、今、市長の言われる市が単独で久和まで通し切るとはとても信じられませんよ。あのごみ焼却場のトンネル、まだ掘れんじゃないですか。何十年かかって掘れんのに道路ができますか。もう一度お答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほども申しましたように、今現在の計画では尾浦・安神間がきちんとした計画に上がって、ここは今、改良を進めていると。安神から先についてはまだ具体的な計画としては上がってはいない状況でありました。それで今おっしゃられるように、これを安神から先を単独事業でやれるかということにつきましては、今現在は図面上の計画ではありますけども、ここですぐに単独でやりますとか、いや、もうここでやめませんかとはちょっと言うことは不可能かなと思います。今現在のところではっきりとこう言えることであれば、今、安神から先の計画は今現在は具体的にはありませんということで御理解を願えればと思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） この件に関しましたら、議会のほうからも見直したらどうかとか、いろんな話は何回もしておりますが、先ほどから言うように地域住民の方々は道路を造ってもらうのが目的じゃないんですよ。それは地域に住む人は自分がそこに生まれ育っているから分かっているわけですよ。しかしながらそういった話がありますとやっぱり期待するじゃないですか。だから私がこのアクションプランにしてもなぜ取り上げたかいいますと、皆さんが努力して短期から長期までの計画を立ててありますので、要するに行動を起こす計画が発表されたわけですから、必ずやっていかんと約束事にならんから、そういった意味も含めまして、私は市長、無理しながら予算もないのに道路を造るなんて無謀な話はやめて、見直しながら最短でいくちゅう言葉が欲しいんですけどね。やっぱりそうせんと期待だけ持って先に進まなければ意味がないじゃないですか。そこも含めまして何とか早急によく方法を、もうこれは県を交えた話しかないと思うんですよ。だからそんなに市がたくさん財源があるわけやないから、無理はなされず分かりやすく住民にお答えが欲しいわけですが、いかがですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに議会のほうからも見直してはどうかというような御意見も伺っているところでありまして、先ほどから申しますように、安神から先の具体的な計画はしておりませんでした。ただ、これを今後、県のほうに今の県道の改良と合わせて要望をしていかなくてもならないとは思っております。市が単独で進める安神から久和までについては、この費用対効

果と申しましようか、このビーバイシー等もかなり難しくなるのではないかなと思っております。そういうことで先ほども申しましたように、県のほうとも県道のバイパスか、そしてまたショートカット等もお願いをしながら協議を進めてまいりたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。

ということは、先ほどありますように、費用対効果、改良効果が表れなかったら流れるという考え方ですか。そうじゃないじゃないですか。費用対効果があろうがなかろうが、進んだらいいわけですからね。そういう話しを比較検討するものではないと私は思っておりますがね。だから、やっぱり地域がなくなるわけではありませんし、そこに住む人がおる以上は1日も早期にどうあるべきかを考える、今後やっていきますと市長が答えてくれればやめますが。どうでしょう。どうですか、最後に。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） いくら単独事業であれ、この費用対効果というのは、やはりどれだけの事業を突っ込んで、どれだけの効果が上がるか。それを判断材料にいたしますので、ここは最終的にはこの費用対効果等を勘案しながら計画すべきものだというふうに私は考えております。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 分かりましたとはなかなか言えませんが、どうしても費用対効果とか改良効果の話をしますか。

○市長（比田勝 尚喜君） せんにゃあいかんと思います。

○議員（13番 波田 政和君） なるほど。そしたら何も作れんじゃないですか。そういう話になってくると。そうじゃないじゃないですか。地域住民がニーズに応じて、何とか1日も早くなるように努力しますと言い換えてくれます。どうですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに、市民の皆様のお気持ち、本当私も痛いほど分かります。そしてまた私も元々土木技術者でございますので、この費用対効果のあり方というのは、例えば東京でもこういった国境の離島でも考え方は同じということで、私もこの費用対効果のあり方については本当にこれは何とかして改良といいますか、考え方を改めてもらわなくちゃならんという気持ちは持っておりますけれども、現時点ではその、たとえ東京であれこのような田舎であれ費用対効果の考え方は一緒でございますので、費用対効果を前面に出すことはやむを得ないということでございますけれども。ただ、何らかの方法で事業費を安くすることで、このビーバイシーの値を少しでも上げると。そしてまた、その効果を上げるということは今後も考えていかなくてはならないというふうに思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 最後に。この件に関しては、次回またお尋ねしたいと思います。

以上で終わります。

○議長（初村 久藏君） これで波田政和君の質問は終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で本日予定しておりました市政一般質問は終わります。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後1時51分散会

---